

日本の心身医学を振り返って —その歴史と思い出を語る—

中川 哲也*

* 九州大学名誉教授

282

心身医・2006年4月・第46巻 第4号 282-291

Table 1 日本心身医学会創設期の主要な活動状況

- 諏訪, 山下, 並木らのグループ (北海道大学)
情動と内分泌, 消化器領域の心身症
- 松永, 川上, 佐々木らのグループ (弘前大学)
消化器領域の心身症
- 九嶋, 長谷川, 山形, 鈴木らのグループ (東北大学)
産婦人科, 内科領域の心身症, 絶食療法
- 三浦, 阿部, 小此木, 五島らのグループ (慶應義塾大学)
心身症の臨床, 精神分析
- 石川, 末松らのグループ (東京大学)
心臓神経症, 内科の心身症, サイバネティックス
- 古閑, 樋口らのグループ (東京慈恵会医科大学)
内科領域の神経症, 心身症, 森田療法
- 阿部, 筒井らのグループ (東邦大学)
自律神経失調症, 不定愁訴症候群, 自律神経機能
- 村松, 堀, 祖父江らのグループ (名古屋大学)
サイコソマの集い, 心身症の臨床
- 堀見, 金子らのグループ (大阪大学)
神経症, 心身症のパーソナリティ, 精神生理
- 新福, 下田 (鳥取大学)
うつ病と身体症状, 脳波 (脳幹症)
- 池見らのグループ (九州大学)
精神身体医学講座, 心療内科の開設
心身医学一般
- 金久, 小川らのグループ (九州大学, 鹿児島大学)
心臓神経症, 内科領域の心身症, 精神分析,
精神生理, 行動療法

消化器心身医学に関して

さて私自身は、主に消化器領域の心身医学に取り組んできたので、この問題についても若干触れてみたい。

消化器病学者として高名な松永藤雄先生（弘前大学）が学会機関誌『精身医学』第6巻第5号（1966年）の巻頭言¹³⁾に，“精神身体医学への入門”と題して、自らの十二指腸潰瘍の生々しい体験を述べられているが、この記事は先生がなぜ心身医学に関心をもたれるに至ったかについて、読む者に深い感銘を与えるものである。実は池見先生もストレスによる胃潰瘍からの大吐血の体験談を著書の中で語っておられる。また、松永先生の高弟の川上澄先生は、消化器 PSM の会でリーダーとして活躍されたが、残念なことに54歳の若さで十二指腸がんのために逝去された¹⁴⁾。日本消化器病学会第31回大会（並木正義会長，旭川，1989年）で、シンポジウム“消化器進行がん患者のターミナル・ケアをめぐる諸問題”の司会を依頼されていた先生が、皮肉なことにその当該患者の立場になられた。先生ご自身は這ってでも学会に出席して司会の役目を果たされたいご意向であったが、それもかなわず、当日は並木会長が司会を代行され、川上先生のご発表は教室の方に託された。自らの体験に基づく「がん告知」や QOL に関する先生のご見解は迫力と説得力があり、多くの人々に感動を与えた。先生はこのシンポジウムを見届けるかのように、二日後に亡くなられた。